

赤穂市、上郡町、岡山日、備前市で開かれた。赤穂市民と2市町の住民

赤穂市民病院の助産料 圈内格差解消へ

赤穂市、上郡町、岡山日、備前市で開かれた。赤穂市民と2市町の住民をつくりを進める「東備西播定住自立圏構想」で、事業内容を議論する「共生ビジョン懇談会」が5日、2013年度から同額とする新規事業が承認された。総務省との協議をへて実施する方針。

3市町でつくる協議会によると、上郡町と備前市には出産できる医療施設がなく、要望が強かった。赤穂市の条例では、同病院で平日の診療時間に出産した場合の助産料は、赤穂市民の12万円に

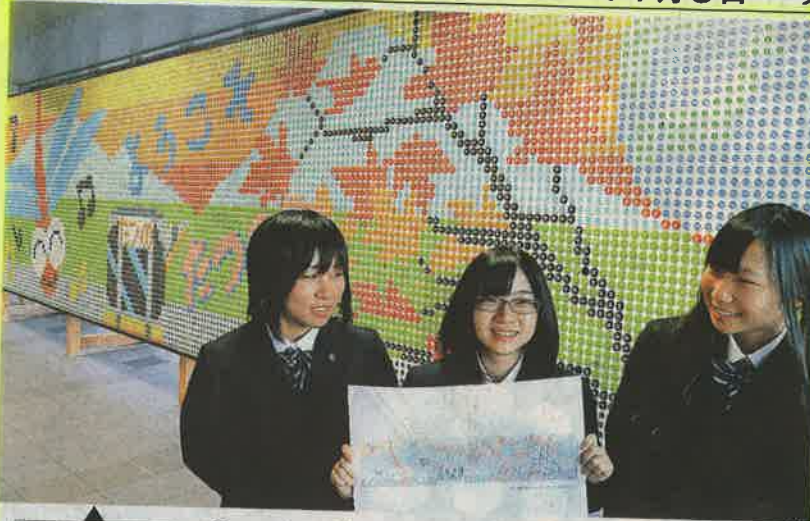
対し、市外の場合は15万円。費用が割増しされる夜間や休日の出産針。

た事業。懇談会では2市町の住民らから「安くない非常に助かる」と賛成の意見が上がった。

赤穂市の条例では、同病院で平日の診療時間に出産した場合の助産料は、赤穂市民の12万円に

対し、市外の場合は15万円。費用が割増しされる夜間や休日の出産針。

（小林伸哉）



ペットボトルキャップで壁画

紅葉のまち走る列車

本竜野駅

ペットボトルのキャップ約1万個で作った巨大壁画が、JR本竜野駅に展示されている。紅葉が美しい龍野の風景を駆け抜ける列車が、色鮮やかに表現されている。

龍野商工会議所青年部の地域貢献活動の一環。

作品は縦2枚、横8枚。龍野北高校総合デザイン科の生徒が描いた原画を基に、1枚四方のパネル16枚に下絵を分割。公募の小学生42人が10月下旬、14色のキャップをパネルにはめ込み、つなぎ合わせて完成した。

色づくモミジに赤トンボ、「童謡の里」からイメージした音符などを配置し、中央に「ようこそ」の文字を浮かべた。

かび上がらせた。原画が採用された2年の高森由佳さん16は「大勢の手で形にしてみらうってうれしい」。金治秀明・青年部会長は「姫新線に乗って見に来てもらえれば」と話す。

今回の制作に合わせ、青年部では市民の協力で約70万個のキャップを回収。12月1日までの展示用町などに続き7例目。

たつの市は5日、インターネットサービス大手ヤフーと、災害時の情報発信に関する協定を結んだ。県内では姫路市、佐用町などに続き7例目。

災害時に自治体のホームページ（HP）に接続が集中し、情報発信がし

佐用・三方里山の旧町章マーク

マークは1985年、旧三日月町の町村合併30周年を記念した「ふるさとまつり」に合わせ、町民有志が裸電球で手作りの

ユズ収穫が本格化



商品へ加工始まる

相生市内で唯一、ユズを生産する同市矢野町小河地区で、鮮やかな黄色に染まった実の収穫が本

相生市内で唯一、ユズを生産する同市矢野町小河地区で、鮮やかな黄色に染まった実の収穫が本

も5日から始まった。

加工品の生産も進め同地区の主婦らが1999年、「ゆず大福」を発売し、クッキーやケーキなどを考案した。5日加工作業では、マーマレード用に皮を刻んだりゆず酢を瓶へ注いだりしていた。

「マーマレードが豊富ユズの加工品を一度味わってほしい」と小河ゆず栽培組合の大道哲男組合長(68)。マーマレードや

インド伝統舞踊を鑑賞 一宮の障害者支援施設



にくくなる事態を防ぐ狙い。たつの市のHPの複製をあらかじめヤフーのサイト内に準備しておくき、災害発生時に「たつの市」と検索すると複製HPに誘導されて閲覧者

の分散を図る仕組み。協定ではほかに平時からヤフーの地図に市内の避難所の場所を掲載することも定めており、市民への周知徹底を図る。

（松本茂祥）